

令和 7 年度

波浪ブイ係留系製作補助業務

特 記 仕 様 書

令和 7 年 12 月

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所

## 1. 業務概要

本業務は、茨城県・波崎海洋研究施設沖合における波浪計係留試験実施を目的として係留系設計及び製作の補助業務を行うものである。

## 2. 履行期限

契約締結日より令和8年2月16日までとする。なお、履行期間中の土曜日、日曜日、祝日及び年末年始は休日として設定している。

## 3. 貸与物件

- (1) 貸与物件は、表3-1のとおりとする。
- (2) 受注者は、貸与物件の借用後においては、適切な維持管理を行うものとする。
- (3) 受注者は、貸与物件の必要がなくなった場合、速やかに調査職員に返還しなければならない。

表3-1 貸与物件

品 名	品質・規格等	単位	数量	引渡場所	引渡時期
波浪ブイ	ソーラーパネル ×2、アンテナボ ックス、浮体総重 量：約 200kg、余 剰浮力：0.7kN、全 長：1.6m、浮体径 0.9m	台	1	調査職員との協 議による	調査職員との協 議による

## 4. 業務仕様

### 4-1 総 則

本特記仕様書に定めのない事項については、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書（国土交通省 港湾局 令和7年4月）」の定めによるものとする。

なお、設計図書公表後、共通仕様書等の改訂により実施内容に変更が生じた場合は、調査職員と別途協議し実施するものとする。

### 4-2 計画準備

受注者は、本業務の実施に先立ち、事前に仕様内容等を確認のうえ業務計画書を作成し、調査職員に提出するものとする。

### 4-3 係留系設計及び製作業務内容

受注者は、発注者が提示する水深 200 m 以深の大水深海域を対象とした係留概要を基に、茨城県・波崎海洋研究施設沖合（水深 25 m）に対応した詳細な係留構成図及び係留系設置方法を提案するものとする。

気象・海象条件に関しては有義波高 10 m、周期 13 秒、最大風速 27m/s 及び流速 2knot 程度とし、耐用年数に関してはおよそ 3 年とする。受注者は、以上の気象・海象条件において作用外力を算定し、走錨しないアンカー重量、最大張力に耐えられる係留索の選定、中間ブイや浮体等の無水没に必要な係留部材を設計するものとする。

受注者は、上記の設計に基づいた係留系を製作するものとする。設計に基づいた部材を調達し、嵌合確認を含め係留機材を準備・製作するものとする。

納品場所に関しては港湾空港技術研究所とする。

#### 4－4 報告書作成

(1) 受注者は、上記4－3で行った設計構成図及び各部材の品名等をまとめて報告書を作成するものとする。

(2) 提出先

神奈川県横須賀市長瀬3丁目1番1号

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所

#### 4－5 協議・報告

受注者は、業務の着手時に事前協議1回を行うものとする。なお、協議・報告については対面で実施することを基本とするが、実施が難しい場合には実施方法について協議を行うものとする。

#### 5. 検 査

本特記仕様書のとおり実施されたことの確認をもって検査とする。

#### 6. その他

本仕様書に記載なき事項又は疑義が生じた場合は、両者が協議のうえ、決定するものとする。また、業務内容の変更により、契約金額に変更が生じる場合は、両者が協議のうえ、履行期間末日までに、契約変更を行うものとする。

以 上